

# 東日本大震災に学ぶ

東日本大震災の発生より2年半が経過しました。ひとつの大災害が発生すると、それ以前の災害における体験と教訓が必要とされます。東日本大震災に対しても、阪神・淡路大震災の経験が、様々な形で活用されてきました。しかし、二つの災害の状況が大きく異なることもあり、支援活動は現地のニーズに合わせた工夫を行いながら、今もなお継続されています。

近いうちに発生が予測される大震災に備えるためにも、東日本大震災における活動から多くを学ぶ必要があります。兵庫県こころのケアセンターでは、こころのケアに関する活動の実際を、現場で重要な役割を担ってきた方々に活動を紹介してもらいながら、共に学んでいくことを目的としてセミナーを開催します。

今回は、宮城県精神保健福祉センターの大場保健師をお迎えします。皆様ふるってご参加ください。

**日時** : 平成26年2月8日(土) 14時～16時

**場所** : 兵庫県こころのケアセンター 中研修室  
神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番2号  
<http://www.j-hits.org/>

**対象** : 災害医療、災害救援、こころのケアなどに係わる専門職  
(医師、看護師、保健師、心理職、ソーシャルワーカーなど)

## セミナー内容 :

講師 : 宮城県精神保健福祉センター

大場 ゆかり 技術次長(総括担当兼相談診療班長) <保健師>

大場氏は、平成22年度からH23年度まで宮城県保健福祉部障害福祉課 精神保健福祉推進班で班長として勤務されており、震災に関する県の対応の中で、心のケアチームの調整、被災精神科病院の入院患者の転院対応、心のケアセンターの設置など、心のケア対策を中心に活動されてこられました。現在は、宮城県の精神保健福祉センターに異動され、自殺対策と連動した心のケア対策や、新設されたみやぎ心のケアセンターと連携しながら各保健所や市町村への技術支援活動を担っておられます。

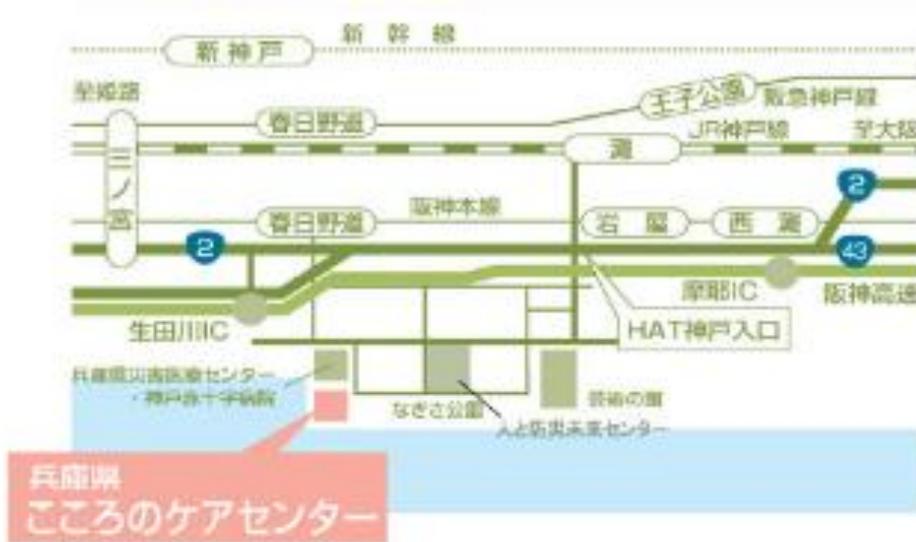
今回のセミナーでは、大場氏より震災時の経験や県の対応、取り組みについて教えていただくとともに、行政の立場からみた震災の心のケア対策について、今後の課題も含めて学んでいきたいと思えます。

**参加方法** : 参加費無料。事前にFAX(申し込み用紙)にてお申し込み下さい(定員30名)。席に余裕がある場合、当日参加も受け付けます。

**主催** : 兵庫県こころのケアセンター

(H25 年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業 「東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究」)

**会場地図** :



兵庫県こころのケアセンター 中研修室

阪神電鉄 阪神春日野道駅より南へ徒歩約 8 分

阪急電鉄 阪急春日野道駅より南へ徒歩約 16 分

JR 神戸線 灘駅から南西へ徒歩約 25 分

**申し込み先** : 兵庫県こころのケアセンター 相談室      FAX : 078-200-3019

..... ( 申し込み用紙 ) .....

所属		職種	
連絡先	Tel ( )	氏名	